

5. 間人中学校の畑では・・・。（昨年度から幼稚園が親子菜園として借用）



昨年度、幼稚園のお母さんたちが植えておいてくれたタマネギが大きくなり 3、4、5歳児で収穫。「みんなでカレーを作ろー。」



お母さんやおじいちゃんとうもろこしの植えをしました。降園時、毎日水やりをしたよ。夏休みは、おじいちゃんとうもろこしの水やりに来てくれました。



保育所の友だちも収穫のお手伝い

間人中学校へ

「畑を貸してくれてありがとう」

「僕たちが育てたとうもろこしができたので食べて下さい。」

6. 幼稚園親子行事（天女の里）



とうもろこしの皮むき 川に入って鮎つかみ 火をおこして“さあー焼くぞ。”

園や中学校で収穫した野菜やとうもろこし・親子虹鱒つかみをしてバーベキュー

「お父さん熱くない？」野菜も魚もみんな美味しかった。

「家では、あんまり魚を食べないけど、今日は、すごいね。」と、お母さんたち

7. 園内では・・・。



何回も猿に狙われたけど、網をして食べられないようにしたよ。

収穫したら、玄関に！



スイカやメロンは各部屋に見せに行きました。



たまねぎは、テラスにおじいちゃんやおばあちゃんがしているようにして干したよ。

8. 野菜運び当番は、



給食の先生に、今日の献立に収穫した野菜の何が入っているのか教えてもらいます。聞いたら各クラスに伝えます。

「おはようございます。聞いて下さい。今日の給食には、僕たち私たちの育てた野菜が入っています。トマトとピーマンとゴーヤとなすです。食べて下さい。」

毎日の報告を繰り返すことで、2、3歳児の子どもたちが、「聞いて下さい。今日の給食にトマトが入っています。食べて下さい。」真似をする姿が見られてきた。

9. スタンプ遊び



形・数・色にも興味を持って
食べるものを遊びに・・・?みんなで相談して
でも、自分たちの育てた野菜だからできるんだよね。



10. 遊戯室で



給食パーティー

誕生日パーティー

みんなで食べると美味しいね。

嫌いな野菜が出てくると「いや。」

「大きい組さんが作った野菜だよ。美味しいよ。」先生の言葉かけて
“ばくり!” やったね。

11. 園内の野菜畑の片付け（最後までやり遂げようね。）

5歳児「いっぱいできたね。」「おいしかったね。」

「この網にさるが引っかからなんだね。」

3歳児「もうならんようになったで片付けとるだか?」5歳児「うん」

3歳児「ありがとう」



12. 地域の方の畑へ（春に僕たちがさつまいものつるさしをしたんだよ。） 〈芋掘り〉



1.3. 間人中学校に借りている 畑で芋掘り



指先に力を入れて掘るんだよ。
お芋の皮がむけないように
気をつけて！
どうしてって？
置いといたら皮がむけている
ところから腐ってくるんだって。



芋づるをつかって
綱引きや縄跳び
その後は、リースに・・・。



「やさしくね。」
「雪だるまみたいだよ。」



いっぱい収穫できたので、
間人中学校へ

「おはようございます。

畑を貸してくれて ありがとうございます。さつまいもがいっぱいとれたので、食べて下さい。」
「いっぱい採れたね。給食に使わせてもらいます。ありがとう。」と教頭先生に言ってもらいました。
子どもたちは、満足顔で園に帰りました。

1.4. 経験したことを 絵に描いたり作ったり



新聞紙でお芋を作ったよ。



「大きなお芋が採れたよ。見て。」

1歳児組に触らせてあげる やさしいお姉さん・お兄さんです。



いろいろな教材を使って 楽しかった絵を 画用紙いっぱい 思い思いの表現を楽しみます。



15. クッキング

(1) 豚汁づくり

いろいろな食材を年齢に合わせて調理しました。

1. 2歳児の子どもたちは、先生と見学です。
お兄さんやお姉さんたちの調理している様子や先生が包丁を使って切っている様子を見て・・・。



苦手な野菜も ぱくり。
おいしいよ。



0. 1歳児も大きな口で
ぱくり。

「おかわりください。」すごいね。何杯目？

(2) 焼き芋

焼き芋の準備で、こども園の近所の農家にすくもを頂きに行きました。

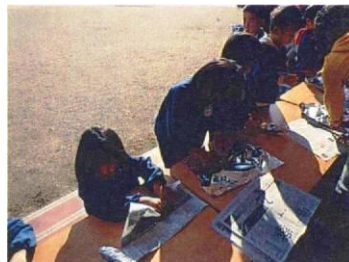


「わあー。服に付いちゃった。」
「ふあふあして気持ちが良い。」



異年齢の友だちと一緒に
芋を新聞紙に巻いて
水に濡らしてアルミホイルに
巻いて火の中へ

「手が冷たいようー。」
「ごしごしね。」

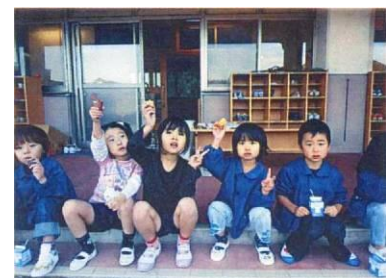


「クルクルするで。」
「こっち持っとるよ。」

「あついね。」
「けむりだー。にげろ。」



「あちーな。」
「大きいで分けたろ。」
「こっちがええか？」
「おいしいね。」



【子どもや保護者の反響・活動を通して子どもが変わった点】

- 地域の畑の様子や家庭菜園・昨年の5歳児クラスが夏野菜を育てていたのを思い出し自分たちも育ててみたい気持ちが出てきた。また、自分たちの思いや考えを言葉で伝えることができるようになってきた。
- 5歳児クラスが育てている野菜の様子・育てている様子を見たり聞くことで、野菜の苦手な子どもたちが、先生たちの助言をもらいながら、日々、嫌いな野菜を克服していく子が増えてきた。
- こども園にいられた地域の方やお客様が野菜の成長を見て、上手に育てていることを誉めてくださったことで、子どもたちの笑顔が見られ その嬉しさを言葉で表現するなど満足感を味わうことが多かった。
- 子どもたちが家庭に帰って家族の人に栽培活動の経過を報告するなど、言葉を介してのコミュニケーションが取れてきた。

【工夫したこと・良かったこと・今後の課題】

- 野菜を育てていくことで、物の大切さや難しさ・大変さ、自分たちの行っていることを見てもらうためには、言葉で伝えないと相手には分かってもらえないことが分かってきた。
- 言葉の言い方や態度で相手が感謝してくれたり、困ったりすることがあることを知った。
- 自分たちで野菜を育てていくことで、野菜のおいしさを感じたり食べることの楽しさを知り多くの子どもたちが、苦手な野菜を園では、少しずつ克服している。

【活用した媒体】

- 天女の里（バーベキュー用品）

【問い合わせ先】

京丹後市立 丹後こども園 主任教諭 渡利 秀子

（連絡先） 電話：0772-75-8030 FAX：0772-75-8031
0772-75-2228

【テーマ】 三小ならではの『食』を身近に感じる教育 を目指して	実施主体	京丹後市立大宮第三小学校
	連携機関	地域の方々

【目的】

おじいちゃん、おばあちゃんとの交流を深める。

【対象者・参加人数・実施時期】

- ・本校児童 4・5・6年生の児童20名と祖父母
- ・9月29日 祖父母参観日での取組

【活動内容】

学校でとれたさつまいもと栗を使っておやつ作り



蒸しパンとかりんとうができました



みんな大喜び！！



また来年も
教えてくださいね

【子どもや保護者の反響・活動を通して子どもが変わった点】

- ・学校でとれた栗やさつま芋を使ったおやつをみんなで食べることができて良かった。
- ・祖父母のいない子ども達とも、たくさん交流していただけた。

【工夫したこと・良かったこと・今後の課題】

- ・結果的に参加者全員に食べていただけることができ、大変喜ばれた。
- ・遊びだけではなく、子ども達と自然に話ができて良かった。

【問い合わせ先】

京丹後市立大宮第三小学校 養護教諭 大木 彩子

(連絡先) 電話：0772-64-2550 FAX：0772-68-9065

【テーマ】 伝えたい丹後の味	実施主体	京丹後市立 大宮中学校 第2学年
	連携機関	大宮町食生活改善推進員協議会

【目的】
 丹後寿司（ばら寿司）を中心に、じゃが芋だんごのけんちん汁、海藻と水菜のサラダの3品を、生徒と共に講習を実施

【対象者・参加人数・実施時期】

平成22年11月1日	1組32名	の生徒と共に中学校家庭科教室で 3回シリーズで取り組みました。
11月4日	2組34名	
11月12日	3組34名	

【活動内容】

郷土食として親から子、子から孫へと伝えたい丹後の味を地産地消を元に成長期の中学生を対象に実習をしました。





【子どもや保護者の反響・活動を通して子どもが変わった点】

アンケートをとりいろいろな意見はありましたがお手伝いをしている生徒は食に対する関心も深く実習している時の手さばきも違い普段手伝いをしていない人との差を大きく感じました。

【工夫したこと・良かったこと・今後の課題】

ばら寿司については生徒の役割分担が決めてあり皆やる気で頑張っていて時間内に片付けまで出来た事は大成功に思いました。

包丁の持ち方の出来ない人もいて個人指導も必要だと思いました。

【活用した媒体】

実習に入る前に食生活改善推進員の役員さんにばら寿司の由来、子どもの成長期と食との関係がいかに大切な事かという内容の講演をして頂きました。

【問い合わせ先】

大宮町食生活改善推進員協議会 会員

(連絡先) 電話：0772-64-2920

【テーマ】 地元で獲れた食材を学校給食に提供し 小学生に魚のおいしさを味わってもらおう	実施主体 京都府立 海洋高等学校
	連携機関 宮津市立 栗田小学校、宮津小学校

【目的】

日頃の時間内ではできない充実した専門実習を実施する。
 3年間の学習のまとめとして、公に食材を製造することを通して社会人としての自信を持たせる。

【対象者・参加人数・実施時期】

3年生食品経済コース
 19名（男子6名、女子13名）
 6月8日（火）（学校給食は9日（水））
 9月30日（木）（学校給食は、10月1日（金））

【活動内容】

地元栗田漁港に水揚げされた新鮮な魚をすり身に加工しました。翌日地元の小学校の給食につみれ汁やさつま揚げ等に調理されました。





【子どもや保護者の反響・活動を通して子どもが変わった点】

集中実習の1日を使って多量の魚（30kg）を捌き、すり身にしました。生徒たちが、緊張をして取りかかる作業ですが、生徒たちは充実感を得ていました。また、秋の実習では、栗田小学校に6人の生徒が招待され小学校1，2年生達と一緒に給食を食べました。高校生が「残さないで食べてください。」とあいさつした後、小学生が「おいしい。」と言いながら給食を食べる様子に、実習の喜びを実感していました。

【問い合わせ先】

海洋高等学校 副校長 二谷 益孝

（連絡先）電話：0772-25-0331

FAX：0772-25-0332